

米国高利回り社債ファンド（毎月決算型）

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2011年4月27日～2020年9月18日

第106期決算日：2020年4月24日 第109期決算日：2020年7月27日

第107期決算日：2020年5月25日 第110期決算日：2020年8月24日

第108期決算日：2020年6月24日 第111期信託終了日：2020年9月18日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、米ドル建の高利回り社債（ハイ・イールド債券）を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と債券の値上がり益の獲得を目指すことを目的としておりました。ここに運用経過をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第111期末（2020年9月18日）

償還価額 7,789.27円

純資産総額 122百万円

第1期～第111期

騰落率 +90.2%

分配金合計(*) 9,310円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・
ダウンロード方法




<https://www.am.mufg.jp/>

【ファンド関連情報】
を選択

【償還ファンド一覧】
を選択

当ファンドのファンド名称の
右欄の運用報告書（全体版）
を選択

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

（受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第1期～第111期：2011年4月27日～2020年9月18日

▶ 設定来の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第111期末	7,789.27円
既払分配金	9,310円
騰落率	90.2%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ90.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収入を享受したこと。
日本銀行による大規模な金融緩和政策等を背景に、米ドルが対円で上昇したこと等。

下落要因

信託報酬等のコスト等。

2020年3月25日～2020年9月18日

▶ 1万口当たりの費用明細

項目	第106期～第111期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	40	0.526	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(16)	(0.215)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(22)	(0.295)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	40	0.528	

作成期中の平均基準価額は、7,595円です。

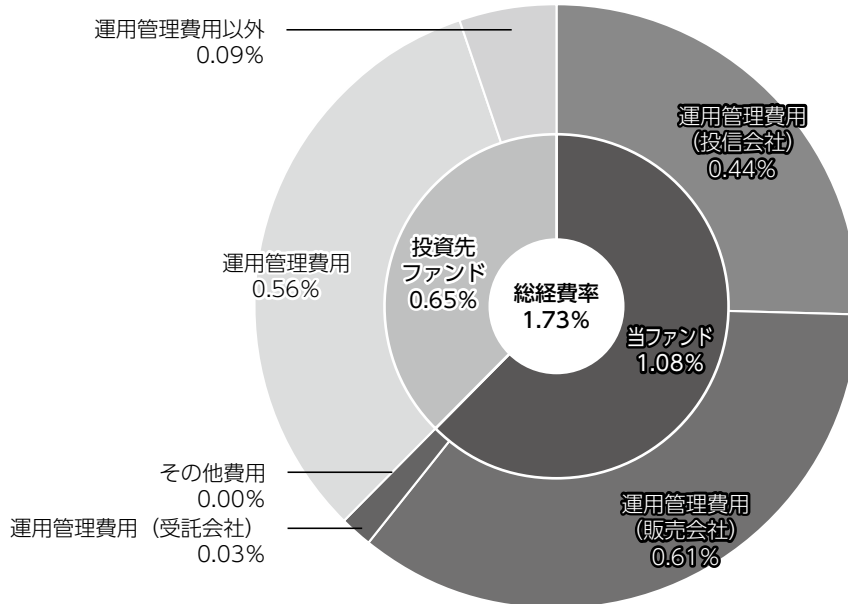
- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.73%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.73
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.08
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.56
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.09

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

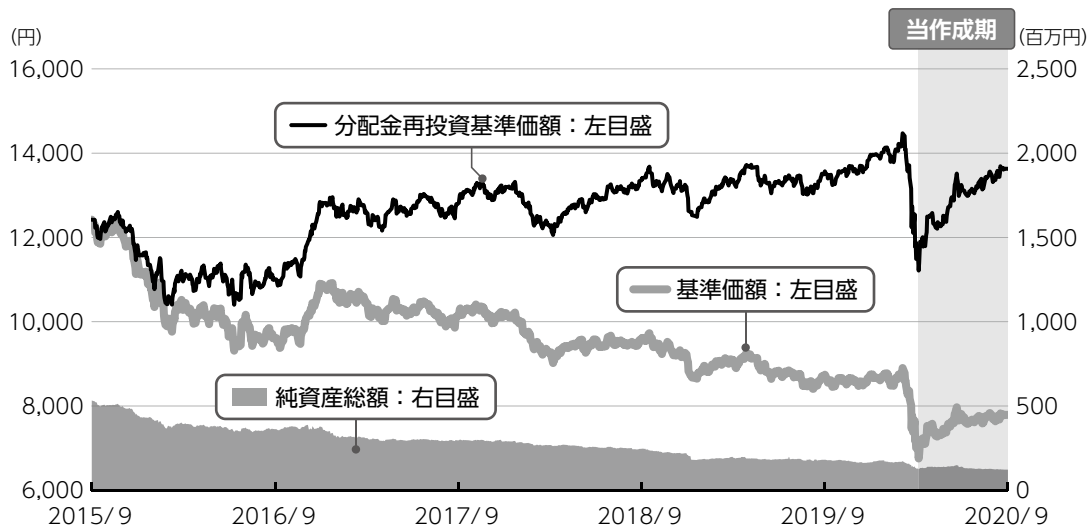
(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2015年9月18日～2020年9月18日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2015年9月18日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2015/8/24 期初	2016/8/24 決算日	2017/8/24 決算日	2018/8/24 決算日	2019/8/26 決算日	2020/8/24 決算日	2020/9/18 信託終了日
基準価額 (円)	12,590	9,481	9,888	9,469	8,408	7,638	7,789.27
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,440	1,000	960	960	960	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-13.8	15.1	5.7	-1.2	2.4	—
純資産総額 (百万円)	525	350	291	249	174	123	122

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

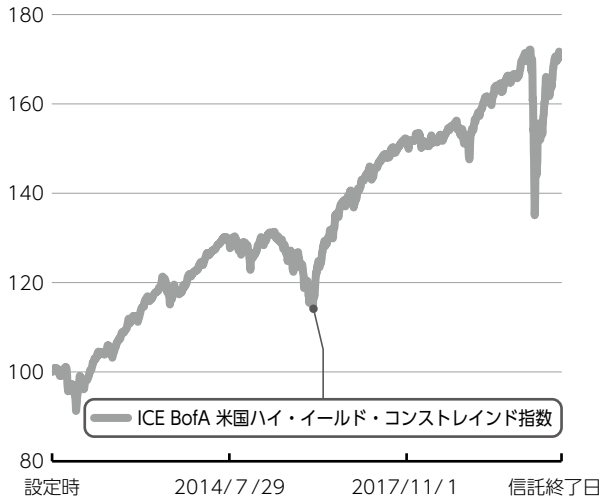
※信託終了日の騰落率および期間分配金合計については、直近決算から信託終了日までの期間が1年に達していないため表示していません。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第1期～第111期：2011年4月27日～2020年9月18日

投資環境について

米国ハイ・イールド債券市況の推移（設定時を100として指数化）



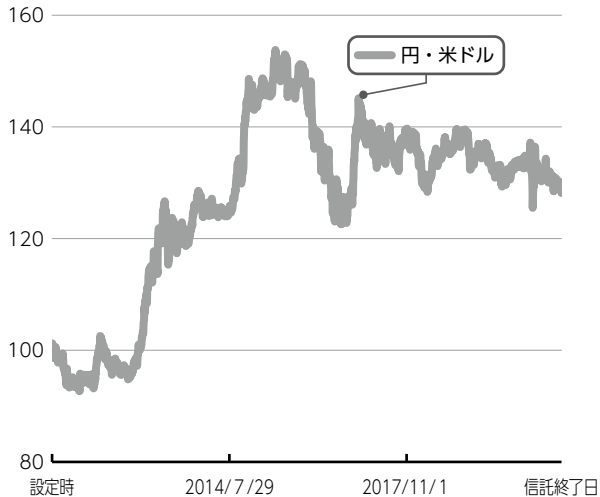
▶ **米国ハイ・イールド債券市況**
信託期間を通じて、米国ハイ・イールド
債券市場は上昇しました。

米中貿易摩擦の激化や原油価格の急落、及び新型コロナウイルスの世界的な感染拡大局面ではスプレッド（国債との利回り格差）が拡大しマイナス要因となったものの、主要中央銀行による金融緩和の継続等や債券利子収入を享受したこと等がプラス要因となり、同市場は上昇しました。

（注）現地日付ベースで記載しております。

（注）ICE BofA 米国ハイ・イールド・コンストレインド指数とは、ICE Data Indices, LLCが算出する米国のハイイールド債券の値動きを表す指数です。同指数は、ICE Data Indices, LLC、ICE Dataまたはその第三者の財産であり、三菱UFJ国際投信は許諾に基づき使用しています。ICE Dataおよびその第三者は、使用に関して一切の責任を負いません。

為替市況の推移 （設定時を100として指数化、対円）



（注）現地日付ベースで記載しております。

国内短期金融市場

**コール・レート（無担保・翌日物）は
0%前後で推移しました。**

設定時から2016年1月までのコール・レートは、日銀による金融緩和政策の影響を受けて、おおむね0.1%を下回る水準で推移しました。2016年2月のマイナス金利の適用開始以降は、おおむねマイナス圏での推移となり、足下のコール・レートは-0.046%となりました。

▶ 為替市況

信託期間を通じて、米ドルは対円で上昇しました。

日本銀行による大規模な金融緩和政策等を背景に、米ドルは対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 米国高利回り社債ファンド（毎月決算型）

信託期間を通じて、主要投資対象とする円建の外国投資信託であるUS・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（USDクラス）受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

最終作成期（2020年3月25日～信託終了日）は、償還に向け、2020年9月にUS・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（USDクラス）受益証券の組入比率をゼロにしました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券を一部組み入れた運用を行いましたが、2020年9月に組入比率をゼロにしました。

▶ US・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（USDクラス）

主として米ドル建のハイ・イールド債券に投資を行いました。

2020年8月末時点において、国・地域別では、引き続き米国を高位の組み入れとし、格付け別ではBB格やB格が高位の組み入れとなりました。信用格付別組入比率は、BBB格以上3.8%、BB格48.2%、B格30.7%、CCC格6.6%、CC格以下3.5%となりました。個別銘柄選択においては、セクター別ではヘルス

ケアや電気通信等を高位の組み入れとしました。セクター別組入比率上位3セクターは、ヘルスケア13.7%、電気通信11.2%、エネルギー10.3%となりました。最終作成期（2020年3月25日～信託終了日）は、上記の運用を維持し、ファンド償還に向け2020年9月に保有資産を売却し、安定運用に切り替えました。

※比率はUS・ハイ・イールド・ボンド・ファンドの純資産総額に対する割合です。

※格付けはS & P社とMoody's社のうち高いものをS & P社の表示方法をもって表記しています。ただし、S & P社とMoody's社のいずれも無格付の場合は、J.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インクが判断した格付けを用いています。（格付けのデータ出所：Bloomberg、J.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インク）

※セクターは原則としてICE Data Indices, LLCのセクター分類に準じて表示しておりますが、一部J.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インクの判断に基づく分類を採用しています。

▶ マネー・プール マザーファンド

信託期間を通じて、コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、第1期の分配は見送りとさせていただきます。第2期から第28期までは各50円、第29期から第63期までは各120円、第64期から第110期までは各80円の分配とさせていただきます。信託期間中、累計で9,310円の分配を行わせていただきました。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第106期 2020年3月25日～ 2020年4月24日	第107期 2020年4月25日～ 2020年5月25日	第108期 2020年5月26日～ 2020年6月24日	第109期 2020年6月25日～ 2020年7月27日	第110期 2020年7月28日～ 2020年8月24日
当期分配金 (対基準価額比率)	80 (1.077%)	80 (1.054%)	80 (1.038%)	80 (1.024%)	80 (1.037%)
当期の収益	35	50	45	38	34
当期の収益以外	44	30	34	41	46
翌期繰越分配対象額	1,845	1,815	1,781	1,740	1,695

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

▶ 償還価額

▶ 米国高利回り社債ファンド（毎月決算型）

償還価額は、7,789円27銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

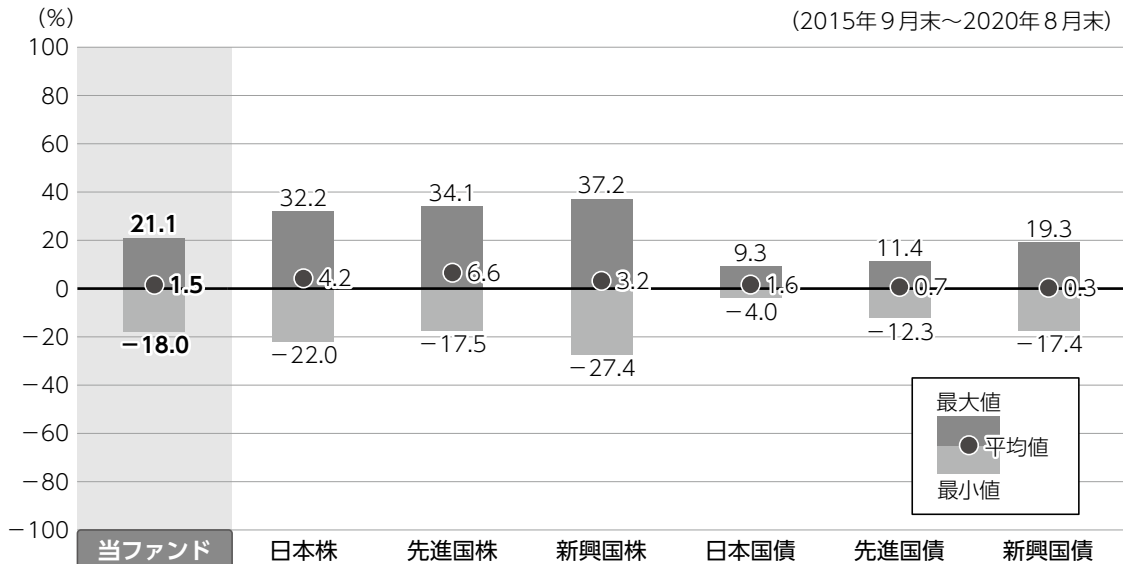
▶ その他

- ・該当事項はありません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2020年9月18日まで（2011年4月27日設定）
運用方針	<p>ファンド・オブ・ファンズ方式により、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>■当ファンド US・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（USDクラス） 受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券</p>
主要投資対象	<p>■US・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（USDクラス） 米ドル建のハイ・イールド債券</p> <p>■マネー・プール マザーファンド わが国の公社債</p>
運用方法	米ドル建の高利回り社債（ハイ・イールド債券）を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と債券の値上がり益の獲得を目指します。
分配方針	毎月24日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2015年9月から2020年8月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorgan Global Diversifund

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2020年9月18日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

・ 信託終了日現在、有価証券の組み入れはありません。

純資産等

項目		第106期末 2020年4月24日	第107期末 2020年5月25日	第108期末 2020年6月24日	第109期末 2020年7月27日	第110期末 2020年8月24日	信託終了日 (第111期末) 2020年9月18日
純資産総額	(円)	139,286,671	140,919,451	130,746,016	127,327,110	123,573,895	122,445,119
受益権口数	(口)	189,645,639	187,587,225	171,478,255	164,647,581	161,781,359	157,197,095
1万口当たり基準価額	(円)	7,345	7,512	7,625	7,733	7,638	7,789.27

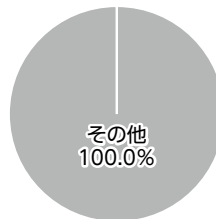
※ 当作成期間中（第106期～第111期）において追加設定元本は13,345,213円
同解約元本は 40,143,780円です。

種別構成等

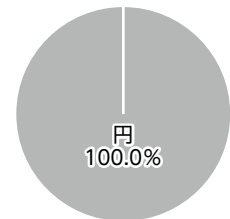
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※ 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※ 国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信